

2006年度

186項目の要望を 市長と教育委員会委員長に提出

予算要望に向けた議員団との懇談会に団体 代表として50人の方が出席

日本共産党吹田市議会議員団は、党市委員会（あべ府議会議員、すみた清美市政対策委員長）とともに昨年12月8日、阪口市長と教育委員会委員長に対して186項目に及ぶ「2006年（平成18年）度吹田市予算編成と施策に関する要望書」を提出し、その実現のための努力を求めました。



障害者自立支援法の 問題点など 切実な要望が出される



要望書の提出に際して、11月16日に、議員団として市内の各団体の対市要望を聞かせていただく「懇談会」を開催したところ29団体50人の方々にご出席いただきました。障害者自立支援法に伴う応益負担など、小泉構造改革での福祉の切捨てなどの実態が明らかになり、各団体の切実な要望が出されました。これらの要望をまとめ、議員団の政策とあわせて「186項目の要望書」としたものです。

障害者自立支援法の関係で市内のほとんどの障害者 団体の皆さんから出された請願などについて議員団も 紹介議員となり可決されました

- 障害者自立支援法のもとでも、吹田市の施策の継続・拡充を求める請願
- 障害者が安心して暮らせるための施策の充実を求める請願
- (仮称)吹田市千里丘日本生命社宅跡地計画に関する請願

「公団家賃の値上げを見合わせ居住者の居住の安定を図り、国会付帯決議の全面実現を求める意見書」(吹田いきいき市民ネットワークは反対)など議員団も賛成し4件の意見書が採択されました

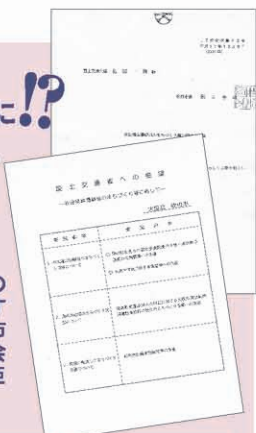
新教育委員(教育長)の選任についての意見

12月23日に4年任期の満了となる情原教育長の選任に、選任する議案が市長から提案され、議員団は以下の意見を述べて反対しました

市長は特別職の任期を1期4年限りで、再任しないという機軸的に決めているようですが、その科学的根拠や市民が納得する客観的な理由はありません。市長や議員でも1期4年だけで仕事をやり遂げるというはあまりにも短く、落ち着かない気がします。失職ですが、はじまりにも短く、期が短いと分かっていけば緊張感の無い仕事になってしまうかも知れません。3期とかの長期はどうかは思いますが、市民のため、市政のために仕事をしてもらうことを第一の基準にして、1つ1つの特別職の任内容、一人一人の人物ごとに、正確に判断する必要がありますのではなか。阪口市長になって初めて提案した現・教育長を、仕事上の特別の理由も無いのに、4年たったから再任させよというのはいりやうな理由とははじいと思えます。この議会で各会派から子ども達の安全問題などが吹

と指摘されていましたが、市長の立場からすれば、教育長先頭を継続して取り進んで欲しい、コロコロ変わるのではなく継続の方が望ましいと思っております。にもかかわらず再任ではなく別の人が提案されているが、教育長は本市政の最高責任者であります。したがって過去の事例がそうであったように全会一致になるよう市長が配慮すべきであるにもかかわらず、そうならないのは提案者の責任であり、大層遺憾なことです。最高裁まで争われた昭和47年(1972年)の吹田二中事件や有罪が確定した吹田「刑罰」三暴力事件などの時期に、教育現場等での対応について批判される点があったことを指摘せざるを得ません。以上の理由で、本案件には同意できないことを申し上げ、意見をいたします。

えっ! なぜ!
この時期に!?



「吹田操車場跡地のまちづくり等に関する要望」について市長が12月市議会会期中に国土交通大臣へ陳情

本会議での質問や答弁で明らかにされましたが、阪口市長は12月9日、国土交通省に向かい国土交通大臣に「吹田操車場跡地のまちづくり等に関する要望」を陳情しました。

その内容は、吹田市への梅田貨物駅機能の移転について、「平成18年の早い時期には、協定5者間において梅田貨物駅機能の約半分についての受け入れに合意すべく鋭意努力している」と、当該地域が魅力的で良好な都市環境を形成することができるよう、支援と協力を要望

- 1 貨物駅建設に伴う街のマイナスイメージが克服され、当該地域が魅力的で良好な都市環境を形成することができるよう、支援と協力を要望
- 2 大阪市営地下鉄8号線の井高野駅からJR岸辺駅までへの延伸が早期実現するよう支援を要望
- 3 下り貨物線のロングレール化と既存鉄道騒音の低減実現についての支援を要望するものとなっている

今回の市長の陳情は、「梅田貨物駅移転について」受け入れの手続きは勿論のこと、議会・市民の合意もなされていないなかで、わざわざ議会の会期中に陳情することは問題です。

また、これまでの市政運営や議会運営からも異例なことと言えるでしょう。

梅田貨物駅転受け入れ問題がならん決着していないなかで、新年早々の「市報すいた」の記事にも見られますように、「吹田操車場跡地のまちづくり」を先行させる市の対応は多くの市民から批判の声が寄せられています。

「市民の願い」を市政に 日本共産党吹田市議会議員団



松本洋一郎



倉沢さとし



そろり邦雄



山根たかし



村口はじめ



竹村 博之



塩見みゆき



柿原 真生